

味方を峻別し、目標を大衆に知らせる

ところで、これと関連して、ブルジョア民主主義派と、これにたいするプロレタリアートの支持という問題がある。この分野でも、メンシェヴィキの決議案は一部は不十分であり、一部は誤りである。カデットは、党をブルジョア民主主義派一般と同一視しようとし、自党をブルジョア民主主義派の主要な代表者と見せようとして、懸命になっている。これはまっかな嘘である。そして社会民主主義者が「ブルジョア民主主義派」の概念を規定するにあたってすこしでも不明瞭な点があれば、それはこの嘘を利することになる。ブルジョア民主主義派にたいする支持という具体的な政治的任務を、われわれは、ブルジョア民主主義派内部の具体的な傾向、潮流、党派の完全に明確な考慮を基礎として決定する義務がある。そしてこの点では、革命的ブルジョア民主主義派、すなわちたとえ政治的にはかならずしも自覚していないで、多くの偏見をもっているなどということがあっても、農奴制ロシアのあらゆる残存物にたいする決定的な、断然たる闘争をやるようなブルジョア民主主義派、そういうブルジョア民主主義派を、反動とどんな取引でもやりかねない、そして危機にのぞむとつねにその反革命的意図をもちだしてくる自由主義的＝君主主義的、日和見主義的ブルジョア民主主義派から、区別すること——これこそ当面の基本的任務である。ロシアに革命的民主主義派のきわめて広範な層が現に存在していることには、疑問の余地がない。それが非組織的で、無党派的で、現在の弾圧にうちひしがれているにしても、それはもっとも不注意で、思慮のたりない観察者しかまよわすことはできない。われわれは、民主主義革命を最後まで遂行するために、いまこの民主主義派と、しかもこの民主主義派とだけ「わかれてすすみ、ともに撃た」なければならないし、こんにち「支配権をにぎっている」カデット党の当てにならないことをもっとも容赦なく暴露しなければならない。

そして民主主義革命を最後まで遂行することを自己の任務とさだめる、社会主義的プロレタリアートの党は、つねにあらゆる立憲的幻想を暴露し、ブルジョア民主主義派全体から闘争能力ある分子を区別する道を知っていなければならないというだけでなく、また革命のこの決定的な勝利の条件を正確にはっきりと規定し、大衆のまえにこれを明確に提出し、革命のこの決定的な勝利はまさにどういう点になければならないかを、大衆にしめし、その宣伝・煽動全体でそれを明らかにする道を知っていなければならない。もしわれわれがこれをやらなければ（メンシェヴィキの同志諸君は、彼らの決議案でこれをやらなかったが）、「革命を最後まで遂行する」というわれわれの言葉は、無内容な空文句にとどまるであろう。

第 10 卷 P264~265 「カデットの勝利と労働者党の任務」

ポイント

1906年3月24～28日（4月6～10日）に執筆

民主主義革命を最後まで遂行することを自己の任務とさだめる、社会主義的プロレタリアートの党は、つねにあらゆるブルジョア的幻想を暴露し、ブルジョア民主主義派全体から闘争能力ある分子を区別する道を知っていなければならない。また革命の決定的な勝利の条件を正確にはっきりと規定し、大衆のまえにこれを明確に提出し、その宣伝・煽動全体でそれを明らかにする道を知っていなければならない。もしわれわれがこれをやらなければ、「革命を最後まで遂行する」というわれわれの言葉は、無内容な空文句にとどまるであろう。